

高木小だより 高木っ子 No10

御船町立高木小学校
令和6年9月27日(金)
文責：校長 中村 繁徳

水俣に学ぶ肥後っ子教室・集団宿泊教室

2学期は **Challenge**

「少しずつ、少しずつ、それが大きい」

5年生が、9月19日(木)～20日(金)に、水俣病資料館と熊本県環境センター、あしきた青少年自然の家に行きました。水俣病については、学校でも事前の学習を行ったところですが、第1日目は、水俣病資料館等で展示物や語り部さんのお話を聴くことを通して、水俣病についてや、水俣病患者の方々の思いを知り、学びを深めることができました。また、環境問題についても学び、何が自分にできるのか、一人一人が考えることができました。第2日目は、あしきた青少年自然の家で、全員で協力して、ペーロン船を進めることができました。充実した2日間でした。以下、子どもたちの感想です。

○ 環境センターに行って、環境問題を知って、節水の他は何をしたらいいかを考えた。また、語り部さんのお話を聴いて、みんなが遊んでいる三輪車を移動代わりに使っていて、5歳で歩けるようになったことを知ったりして、本当につらかったんだなって分かりました。
吉村友希さん

○ 水俣病になるといろいろな症状がでて生活にたくさんの悪影響がでるということは知っていたけど、水俣病資料館や永本さんの話を聴いて、ほかにもたくさんの症状がでるということを初めて知りました。改めて差別は絶対にしてはいけないことだと思いました。
坂本和香さん



福祉体験授業

9月24日(火)に、町社会福祉協議会の方にゲストティーチャーとしてお越しいただき、相手の気持ちになって車いすを操作する重要性や高齢者の立場に立った介護について、車いす体験や高齢者体験の活動を通して、理解を深めました

以下、子どもたちが書いたお礼状からの一部抜粋です。

○ 今日は、障がいがある方の気持ちがよく分かりました。車いすで困っている方がいたら、声をかけたいと思いました。 高松那奈子さん

○ 車いす体験では、足が不自由な方の大変さが分かりました。高齢者体験では、高齢者のきつさを知り、僕にできることがあればやっていきたいです。
田畑凜汰郎さん

○ 障がいのある方や高齢の方のことにについてよく知ることができました。大人になったら障がいのある方や高齢の方を助けていきたいです。
小村佳凜さん

